

岐阜県立大垣北高等学校

校長 蛭川 義高
学校住所 大垣市中川町4丁目110番地の1 電話 0584-81-2244

- 1 会議の名称 岐阜県立大垣北高等学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成 委員
石丸 徳之 大垣市中川ふれあいセンター所長
上田 和男 上田石灰製造株式会社代表取締役社長 [当日欠席]
川瀬 敦子 主婦（地域住民）
清水 義弘 同窓会代表
林 綾子 保護者代表（PTA代表）
(委員名は五十音順)
学校側 若山 忠弘 育友会長
蛭川 義高 校長
吉田 健太郎 事務部長
竹中 和春 教頭
石神 政幸 教頭
桐山 明宏 教務部長
五十川 貢 総務部長
高橋 範行 進路支援部長
早矢仕 賢治 生活充実部長
竹内 秀人 生徒部長
高橋 英彦 健康促進部長
原口 幸雄 教育相談部長
佐藤 徹 図書情報館部長
箕浦 誠 S G H推進部長
- 3 会議の目的 学校運営や教育活動について地域社会に情報発信するとともに、要望や意見を幅広く聞き、より一層地域社会に開かれた学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年1月16日(火) 14:00～16:00 大垣北高等学校(会議室)
委員4人と学校側14人が出席
- 5 会議の概要 (1)開式 学校長挨拶 (14:00～14:05)
(2)学校側説明 (14:05～14:40)
ア 部活動結果
イ 生徒及び保護者対象アンケート結果
ウ 第2回生徒実態調査結果
エ 意見交換
(3) S G H説明及び海外フィールドワーク報告（生徒より） (14:40～15:05)
(4)自校評価 (15:10～15:58)
ア 部長からの説明
イ 意見交換「本校教育に対するご提言」
(5)閉会 学校長挨拶 (15:58～16:00)

- 意見 1 スマホへの具体的な対応は何か。
(回答) 情報モラルの講演会、通信の配付、個々のルール作り等を行っている。
生徒の反応はどうか。
(回答) スマホは怖いという意識とこれくらいは大丈夫かなという意識がある。
- 意見 2 生徒も保護者も先生に対して信頼が厚い。勉強だけでなく、基本的な生活習慣の確立にも力を注いでいるのは素晴らしい。SNSは追いかけっここのところもある。とても難しい問題だが、その点でもしっかり対応されているのでよいと思う。
- 意見 3 アンケートでは、保護者から高い評価を得ている。それは生徒の評価にもつながっている。北高の教育方針への理解がアンケートの数字にも表れていると感じる。私たちの時代とは違う、新しい状況に先生方も対応されている。大変であると思うが、今後も毅然とした姿勢で対応してほしい。
- 意見 4 アンケート結果には保護者も生徒も先生を信頼していることが表れている。信頼関係ができていることが分かる。子供たちはスマホを利用して、写真を気楽に載せたりする。指導は最初が肝心である。厳しい指導をお願いしたい。
- 学校 貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。前回、生活信条をよりどころとして指導していくべきだというご意見をいただき、「誠実・友愛・努力」を教室に掲示して、生徒の心に残るようにしている。交通マナーや挨拶について、今後も徹底していく。教師の醍醐味の一つは 生徒の心に残り、やる気を出させる言葉をかけることができるかである。スマホについては、生徒も教員も、便利になって、それで逆に苦しんでいる。便利な点をうまく利用できるようにしたい。今後とも支援をお願いしたい。

6 会議のまとめ

第2回学校評議員会では、生徒及び保護者対象アンケート結果、生徒実態調査結果、各分掌の自己評価等の説明を行った上で、本校の教育活動に対するご感想、ご提言をいただいた。

また、生徒2人によるSGHの海外フィールドワーク報告を行った。委員の方々から活発な質問が出され、生徒も堂々と受け答えをしており、素晴らしい報告であった。

今回の貴重なご意見を真摯に受けとめて、次年度の教育活動に生かしていくとともに、今後も学校の教育活動について様々な機会を通してご意見をいただきながら、本校の校風を守りつつ、地域の信頼に応えることのできる魅力ある学校づくりを行っていききたい。